

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公表番号】特表 2018-535480 (P2018-535480A)
【公表日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)
【年通号数】公開・登録公報 2018-046
【出願番号】特願 2018-517828 (P2018-517828)
【国際特許分類】

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

G 0 6 F 21/16 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 9/50 1 5 0 C

G 0 6 F 21/16

【誤訳訂正書】
【提出日】令和 2 年 5 月 13 日 (2020.5.13)
【誤訳訂正 1】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのコンピュータ実装方法であって、

分析のために前記アプリケーションを提供することであって、前記アプリケーションが、異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、前記アプリケーションが、データ・アスペクトに対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、前記データ・アスペクトがメッセージ全体、あるいは前記メッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、前記提供することと、

前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するために前記アプリケーションを分析することと、

前記参照されているデータ・アスペクトの前記デプロイメント制約に基づいて、処理ノードのデプロイメントに関する制限を決定することと、

前記決定された制限に従って前記アプリケーションの各処理ノードをデプロイすることとを含む、コンピュータ実装方法。

【請求項 2】

前記分析することおよび前記決定することが前記アプリケーションのデプロイメントで動的に実行される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記分析することおよび前記決定することが前記アプリケーションの前記デプロイメントよりも前に実行され、前記方法が、

前記処理ノードによって参照されるデータ・アスペクトに関連するメッセージ・モデル内でアノテートされたデプロイメント制約に対応する制限メタデータを使用して当該処理ノードにマークを付けることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

デプロイすることが、前記制限メタデータを読み取り、前記制限に従って各処理ノード

をデプロイすることによって、マークが付けられた処理ノードに対して実行される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを追跡することと、

前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトが、デプロイメント制約を有していないターゲットデータ・アスペクトに移動したかどうかを決定することと、

前記ターゲットデータ・アスペクトがデプロイメント制約を有することを記録することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記アプリケーションを分析することが、前記デプロイメント制約を有するとしてデータ・アスペクトが追跡されているどうかを決定することを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記メッセージ・モデル内でアノテートされた前記デプロイメント制約を決定するために前記メッセージ・モデルにアクセスすることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記データ・アスペクトに対するデプロイメント制約を決定するために追跡データにアクセスすることを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記メッセージ・モデルと前記アプリケーションのコードとの間の論理的分離が提供され、デプロイメント制約が前記メッセージ・モデル内でのみ定義されることを可能にする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記アプリケーションが、分散リソースにデプロイすることができる処理ノードを含んでいる分散アプリケーションである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記アプリケーションが、1つまたは複数のインバウンド・インターフェイスおよび1つまたは複数のアウトバウンド・インターフェイスを有する処理ノードを含む統合フローであり、前記データ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するために前記アプリケーションを分析することが、インバウンド・インターフェイスまたはアウトバウンド・インターフェイスがデプロイメント制約を有する前記データ・アスペクトを含むかどうかを決定することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記アプリケーションが、ハイブリッド・クラウド環境内にデプロイされることが可能であり、前記デプロイメント制約が、前記ハイブリッド・クラウド環境内の、ローカルなクライアントのデプロイメント、オンプレミスのデプロイメント、企業内のデプロイメント、地理的位置内のデプロイメント、またはパブリック・クラウド内のデプロイメントのグループのうちの1つまたは複数を含むデプロイメントのロケーションに関連する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのシステムであって、

プロセッサおよびメモリを備え、前記プロセッサが、

分析のために前記アプリケーションを提供することであって、前記アプリケーションが、異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、前記アプリケーションが、データ・アスペクトに対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、前記データ・アスペクトがメッセージ全体、あるいは前記メッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、前記提供することと、

前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するために前記アプリケーションを分析することと、

前記参照されているデータ・アスペクトの前記デプロイメント制約に基づいて、処理ノードのデプロイメントに関する制限を決定することと、

前記決定された制限に従って前記アプリケーションの各処理ノードをデプロイすることと
を実行するように構成される、システム。

【請求項 14】

前記分析することおよび前記決定することが前記アプリケーションのデプロイメントで動的に実行される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記分析することおよび決定することが前記アプリケーションの前記デプロイメントよりも前に実行され、前記プロセッサが、前記処理ノードによって参照されるデータ・アスペクトに関連するメッセージ・モデル内でアノテートされたデプロイメント制約に対応する制限メタデータを使用して当該処理ノードにマークを付けるようにさらに構成される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 16】

デプロイすることが、前記制限メタデータを読み取り、前記制限に従って各処理ノードをデプロイすることによって、マークが付けられた処理ノードに対して実行される、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記プロセッサが、
前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを追跡することと、
前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトが、デプロイメント制約を有していないターゲットデータ・アスペクトに移動したかどうかを決定することと、
前記ターゲットデータ・アスペクトがデプロイメント制約を有することを記録すること
を実行するようにさらに構成される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記アプリケーションを分析することが、デプロイメント制約を有するとして特定のデータのアスペクトが追跡されているどうかを決定することを含む、請求項 17 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記プロセッサが、前記メッセージ・モデル内でアノテートされた前記デプロイメント制約を決定するために前記メッセージ・モデルにアクセスするようにさらに構成される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 20】

デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのコンピュータ・プログラムであって、前記コンピュータ・プログラムが、プログラム命令を備え、プロセッサによって実行可能な前記プログラム命令が、前記プロセッサに、

分析のために前記アプリケーションを提供することであって、前記アプリケーションが、異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、前記アプリケーションが、データ・アスペクトに対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、前記データ・アスペクトがメッセージ全体、あるいは前記メッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、前記提供することと、

前記デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するために前記アプリケーションを分析することと、

前記参照されているデータ・アスペクトの前記デプロイメント制約に基づいて、処理ノードのデプロイメントに関する制限を決定することと、

前記決定された制限に従って前記アプリケーションの各処理ノードをデプロイすることと
を実行させる、コンピュータ・プログラム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明の一実施形態によれば、デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのコンピュータ実装方法が提供され、このコンピュータ実装方法は、分析のためにアプリケーションを提供することであって、このアプリケーションが、異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、このアプリケーションが、データ・アスペクト (aspect) に対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、データ・アスペクトがメッセージ全体、あるいはメッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、提供することと、デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するためにアプリケーションを分析することと、参照されているデータ・アスペクトのデプロイメント制約に基づいて、処理ノードに関する制限を決定することと、決定された制限に従ってアプリケーションの各処理ノードをデプロイすることを含む。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本発明の第2の実施形態によれば、デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのシステムが提供され、このシステムは、プロセッサと、定義された機能を提供するように配置された次のコンポーネントの機能を実行するためにコンピュータ・プログラム命令をプロセッサに提供するように構成されたメモリとを備え、それらのコンポーネントは、分析のためにアプリケーションを提供するための提供コンポーネントであって、このアプリケーションが、異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、このアプリケーションが、データ・アスペクトに対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、データ・アスペクトがメッセージ全体、あるいはメッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、提供コンポーネント、デプロイメント制約を有するデータ・アスペクトを参照する処理ノードを識別するためにアプリケーションを分析する分析コンポーネント、参照されているデータ・アスペクトのデプロイメント制約に基づいて、処理ノードのデプロイメントに関する制限を決定するための決定コンポーネント、決定された制限に従ってアプリケーションの各処理ノードをデプロイするためのデプロイメント・コンポーネントである。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

本発明の第3の実施形態によれば、デプロイメントロケーションへのアプリケーションのセキュア・デプロイメントのためのコンピュータ・プログラム製品が提供され、このコンピュータ・プログラム製品は、具現化されたプログラム命令を含んでいるコンピュータ可読記憶媒体を備え、プロセッサによって実行可能なこのプログラム命令は、プロセッサに、分析のためにアプリケーションを提供することであって、このアプリケーションが、

異なるロケーションにデプロイできる処理ノードに分割されることが可能であり、このアプリケーションが、データ・アспектに対するデプロイメント制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデルに基づいてメッセージを処理し、データ・アспектがメッセージ全体、あるいはメッセージのデータ・フィールド、データ要素、またはデータ構造を含む、提供することと、デプロイメント制約を有するデータ・アспектを参照する処理ノードを識別するためにアプリケーションを分析することと、参照されているデータ・アспектのデプロイメント制約に基づいて、処理ノードのデプロイメントに関する制限を決定することと、決定された制限に従ってアプリケーションの各処理ノードをデプロイすることとを実行させる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

メッセージ・モデルを作成する場合、管理者は、要素またはフィールドを作成することができ、制約を指定するために、要素またはフィールドに対してプロパティを設定することができる。既存のメッセージ・モデルが変更される場合、管理者は、適切な制約プロパティを設定することによって、既存の要素またはフィールドを変更することができる。アプリケーションは、メッセージ・モデルによって定義されたメッセージを処理するアプリケーションのノードまたはサブセットによって使用するために、開発時に、メッセージ・モデルをアプリケーション・フローに取り込むことができる。アプリケーションの開発において、分析のためにアプリケーションが提供されてよい(101)。このアプリケーションは、例えばネットワーク全体(つまり、ハイブリッド・クラウド環境)に分散される場合のある複数のシステムにまたがってデプロイされてよい処理ノードまたはコードのサブセットを含むことができる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

セキュア・デプロイメント・システム310は、分析のためにアプリケーション312を受信するように配置された受信コンポーネント311を含むことができ、このアプリケーションは、さまざまなロケーションにデプロイされてよい処理ノード401~405に分割されることが可能である。アプリケーション312は、メッセージの特定のデータ・フィールドまたはデータ構造内のデータのデプロイメントに対する制約を定義するアノテーションを含んでいるメッセージ・モデル313に基づいてメッセージを処理する。必要なメッセージ・モデル313にアクセスするためのアクセス・コンポーネント317が提供されてよい。

【誤訳訂正 7】

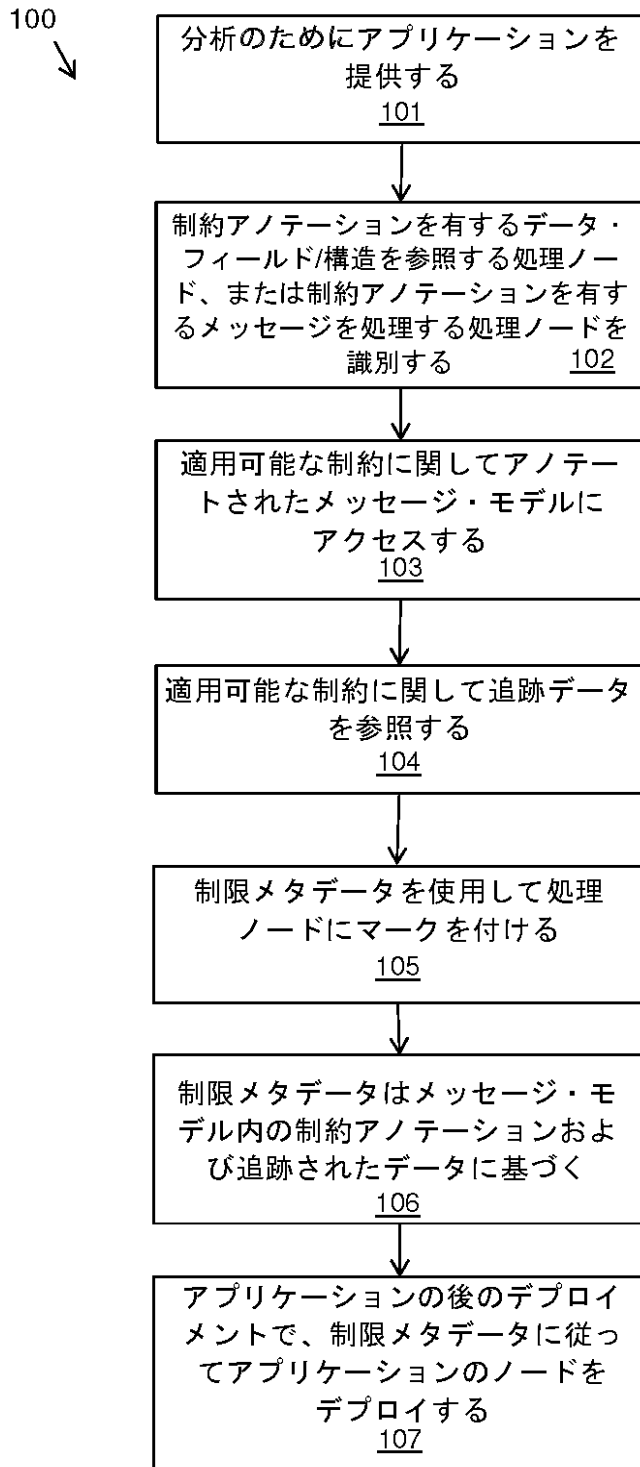
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 1】



【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 2】

150

